

ポーランド政治・経済・社会情勢

(2017年1月5日～2017年1月11日)

平成 29 年(2017 年)1 月 13 日

H E A D L I N E S

政治

下院予算法案を巡る与野党対立の動向
 ドウダ大統領, 教育改革法案に署名
 ポーランドの1個大隊がNATOの高度即応部隊に指定
 17年国防費成立
 国防次官, 米国訪問
 チェルニツキ多目的補給艦の国外派遣
 米機甲旅団がポーランドに到着
 統合作戦司令官及び領域防衛軍司令官, 任命される
 国防副大臣, 2022年までに無人機及び衛星を導入と発表
 ポーランド外務省のウクライナでのフタ・ピェニャツカ記念碑破壊に対する声明
 ヴァシチコフスキ外相のニューヨーク訪問
 国防副大臣, 次期戦闘機に, 米軍保有の旧式F-16を検討と発表
 多国間演習ビソン・ドラフスコの開始

経済

ワルシャワ地下鉄の拡張計画
 2017年予算案上院通過
 12月の失業率
 S&Pのポーランド公債格付け
 政策金利の据え置き
 2016年の新車登録台数は二桁増
 2016年には, 51, 100企業が設立
 ポーランド製グラフェンが販売開始
 グリンスキ副首相がインドを訪問
 電気自動車普及はまだ僅か
 サウジへ地下鉄車両を輸出
 61%が原発建設を支持
 原子力発電所入札手続きの年内開始の可能性

大使館からのお知らせ

年末年始のテロに対する注意喚起と「たびレジ」登録のお願い
 長期滞在を目的にシェンゲン協定域内国に渡航する際の注意
 パスポートダウンロード申請書のご案内
 大使館広報文化センター開館時間
 文化行事・大使館関連行事

ポーランド日本国大使館
 ul.Szwolczerow 8, 00-464 Warszawa Tel:+48 22 696
 5000http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm

【お願い】3か月以上滞在される場合、「在留届」を大使館に提出してください。大規模な事故・災害等が発生した場合、所在確認・救援の根拠となります！
 問合せ先大使館領事部 電話 22 696 5005 Fax 5006 各種証明書, 在外投票, 旅券, 戸籍・国籍関係の届出についてもどうぞ。

政 治

内政

下院予算法案を巡る与野党対立の動向【9日～12日】

12月16日の下院予算審議・法案採決の混乱を受け、同採決の合法性を認めない野党・市民プラットフォーム(PO)及び「近代」が年末年始をかけて下院本会議場における座り込みを継続していた問題に関し、9日以降、11日の下院の本会議再開に向け、カルチェフスキ上院議長主催の与野党間協議、下院幹部会における協議等が行われた。また、9日、カルチェフスキ上院議長は、12月16日の予算法案審議の紛糾の原因であった下院内での取材制限の導入計画を断念し、下院におけるメディアの活動に変更が生じないことを発表した。

他方、これらの協議等を経ても、12月16日の予算採決の合法性を巡る与野党間の立場の相違は埋まらず、11日19時に再開された下院本会議ではPO議員が演壇を占拠し、同本会議は数分間で終了した。その一方で、上院は、同11日に予算法案を修正無しで可決し、予算法案は大統領府に送付された。

12日、スヘティナPO党首は、下院本会議場にお

ける座り込みを停止し、クフチンスキ下院議長の解任決議を下院に提出する等の手法に転じる方針を示した。また同党首は、憲法法院に予算法案の合憲性の審査を求める考えを示すと同時に、ドゥダ大統領に対し違法なプロセスで採択された予算法案に署名を行わないよう求めた。カチンスキPiS党首は、野党議員による下院本会議場の占拠は終了したが、同占拠を行った者に対する司法の手によって裁かれなければならないとの考えを示した。

ドゥダ大統領、教育改革法案に署名【9日】

9日、ドゥダ大統領は、中学校の廃止等を含む教育改革法案に署名した。同大統領は、署名後の記者会見にて、ポーランドの教育制度は早期の改革を必要としている、自分は署名前に教師及び保護者等と多くの会談を行った旨述べた。一方、同大統領は、本件法案に関し当初多くの疑問を有していたことを認め、(憲法が定める)21日間の期間で署名の是非を判断することは困難であるとも述べた。

外交・安全保障

ポーランドの1個大隊がNATOの高度即応部隊に指定【4日】

4日、英国の第20機甲歩兵旅団を基幹部隊とする14ヶ国、約3千人によるNATO高度即応部隊(VJTF)が指定され、ポーランド軍からはレオパルド戦車を装備する第10機械化大隊が指定された。

ポーランド軍は、2020年にVJTFの基幹部隊に指定される予定である。

17年国防費成立【4日】

4日、国防予算が上院議会にて可決され、371.52億ズロチで、GDPの2%を占める結果となった。16年との比較としては、1.3%増の12.53億ズロチ増額となった。

国防次官、米国訪問【4-6日】

4-6日、シャトコフスキ国防次官は、米国を訪問し、政府、議会、研究機関の関係者と会談を行い、ポーランドの国防戦略、防衛協力、米機甲旅団の展開、NATOワルシャワ首脳会合の決定事項の履行状況、ロシア軍のポーランド国境における地上戦力・核戦力の増強等の情勢、スモレンスク事故調査等について議論を行った。

チェルニツキ多目的補給艦の国外派遣【5日】

5日、チェルニツキ多目的補給艦は、ツフィノウィツ

チェ港を出港し、7月上旬までの約6ヶ月間、地中海で行われるNATOの常設対機雷戦グループに参加する。同グループは、ドイツ、スペイン、トルコ、ルーマニア及びギリシャで構成され、活動地域は、地中海、エーゲ海、黒海並びにキプロス島及びシチリア島周辺である。

米機甲旅団がポーランドに到着【7日】

7日、第3機甲旅団の先遣隊250人がヴロツワフ空港に到着した。同旅団は、米国コロラド州に駐屯し、「アトランティックリゾルブ」演習の一環で9ヶ月間にわたり、3,500人、戦車87両、自走榴弾砲18両、ブラッドレー歩兵戦闘車144両、ハンビー機動車400両等が参加する。

同旅団は、ポーランド西部のザガン演習場、ドラフスコ演習場、スクフィエジナ、シフェントシュフ、ポレスワビエツの5カ所に展開するとともに、バルト諸国及びルーマニアにも展開する。

統合作戦司令官及び領域防衛軍司令官、任命される【10日】

10日、スワボミル・ボイチュホスキ准将は少将に昇任し統合作戦司令官に任命された。また、ヴェスワフ・ククウカ准将は領域防衛軍司令官に任命された。

国防副大臣、2022年までに無人機及び衛星を導入と発表【10日】

10日、コブナツキ国防副大臣は、2022年までに、無人機及び人工衛星システムを導入するため29億ズロチを配当すると発表した。

ポーランド外務省のウクライナでのフタ・ピェニャツカ記念碑破壊に対する声明【10日】

9日、ウクライナ西部のフタ・ピェニャツカにおいて、1944年にポーランド人が殺害された記念碑が破壊された事案に対し、10日、ポーランド外務省は、早期の事件解明及び犯人逮捕を要請する内容の声明を出した。

ヴァシチコフスキ外相のニューヨーク訪問【10—11日】

10—11日、ヴァシチコフスキ外相は、ニューヨークを訪問し、国連安全保障理事会の会合に出席した他、グテーレス国連事務総長、キッシンジャー元米国务長官、トランプ政権の国家安全保障大統領補佐官に指名されたフリ元国防情報局長官と面会し

た。

国防副大臣、次期戦闘機に、米軍保有の旧式F-16を検討と発表【11日】

11日、コブナツキ国防副大臣は、次期戦闘機に、米軍が保有する旧式のF-16戦闘機を96機導入し、国内で近代化改修する予定であると発表した。近代化改修ができれば、新型機の3割の1億ズロチで導入できると見積もっている。

多国間演習ビソン・ドラフスコの開始【11日】

11日、多国間演習のビソン・ドラフスコ演習は、ポーランド、ドイツ、オランダ、米国、カナダ、エストニアから計4500名が参加して、ドイツ北東のユーゲルブルク演習場で開始され、2月11日から24日までは、ポーランド北西部のドラフスコ演習場に移動して実施される。同演習は、独・蘭共同機甲が参加し、相互運用性の向上を目的に実施され、ポーランドは将来の共同部隊編成を見据え、レオパルド戦車を装備する戦車大隊の約500名が参加する。

経 済

経済政策

ワルシャワ地下鉄の拡張計画【10日】

EUは、ワルシャワ地下鉄2号線拡張に4億3,200万ユーロを拠出することを発表した。計画には6駅の建設、13車両の購入等が含まれ、2019年1月に完了予定である。

2017年予算案上院通過【11日】

11日、2017年予算案は上院で可決され、今後大統領の署名を待つことになった。歳入3,254億ズロチ、歳出3,848億ズロチで、GDP成長率を3.6%、物価上昇率を1.3%を前提としている。

マクロ経済動向・統計

12月の失業率【9日】

家族・労働・社会政策省によれば、12月の失業率は8.3%で、登録失業者数は133万人。ラファルスカ大臣は、2017年末には失業率は7.5%まで下がるだろうと発言している。

「A-」及び「A/A-1」から引き下げられたもの。また、2016年GDP成長率見通しを3.0%から2.8%に、2017年GDP成長率を3.3%から3.2%に引き下げた。

S&Pのポーランド公債格付け【10日】

スタンダード・アンド・プアーズ(S&P)社は、ポーランドの外貨建て長期ソブリン格付けを「BBB+」に、自国通貨建て短期ソブリン格付けを「A-/A-2」に維持した。この格付けは、2016年1月に

政策金利の据え置き【11日】

中央銀行金融政策委員会(RPP)は、政策金利を1.5%に据え置くことを決定した。現時点で、グラピンスキ総裁は、2017年中は政策金利の変更は見込まれないとしている。

ポーランド産業動向

2016年の新車登録台数は二桁増【5日】

自動車産業専門調査会社 Samarによると、2016年の新車(乗用車・商用車)の登録台数は474,942台で、2015年比で16.6%の増加となった。

同登録数は、2000年以降最大という。EU加盟国間で比較すると、ポーランドの登録台数は独、英、仏、伊といった国を下回り7番目となる。また、Gazeta Wyborcza 紙の報道では、ポーランドでは新

車購入だけでなく年式の古い中古車が大量輸入されていると報じており、昨年1-11月の間に、直近8年間で最大となる903,000台が輸入されたとしている。

2016年には、51,100企業が設立【9日】

企業登記載判所(KRS)によると、2016年に登記された会社数は51,100社を超え、2015年よりも8%上回った。専門家は市場の活性化、労働市場や失業率の改善、法人税や個人所得税の引き下げ(投資関連)等が影響したものと分析している。形態としては、最も多いのが有限会社(Sp z o. o.)であり、42,300社が設立された。分野別では、主に貿易、調査、技術サービス及び建設関係が多い。

ポーランド製グラフェンが販売開始【9日】

電気部材技術研究所(ITME)が開発した50cm×50cmのグラフェンシートがNano Carbon社より発売された。グラフェンはバイオ医療や自動車及び防衛産業への革命をもたらす素材として研究開発が進められており、ポーランドはいち早くグラフェンシートの商業規模での生産技術を確立していた。ITMEやNano Carbon社は半導体への応用研究も進めており、ICチップの一層の小型化への貢献が期待される。

グリンスキ副首相がインドを訪問【9-11日】

グリンスキ副首相兼文化・国会遺産大臣は、政府高官及び企業関係者を伴い、インドで開催された投資イベント、バイブラント・グジャラート・グローバル・サミット2017に出席した。グリンスキ副首相はポーランドの投資先としての魅力に触れつつ、両国間の協力の可能性についてスピーチを行ったほか、モディ首相を始めとするインド政府高官等と面談し、両国間の経済協力・文化交流について意見交換を行った。

電気自動車普及は未だ僅か【11日】

昨年、政府は10年以内に100万台の電気自動車をポーランド国内に普及させるとの目標を発表したが、欧州自動車工業会(ACEA)によると、2016年第1-3四半期の間に登録されたのは乗用車70台に過ぎない(2015年は54台)。2016年では第3四半期が最も多く、37台が登録された。

サウジへ地下鉄車両を輸出【11日】

サウジアラビア向けの69両の地下鉄車両がホジュフにあるALSTOM社工場より出荷された。同社はリヤドにおける3本の地下鉄建設のコンソーシアムに参加している。ホジュフ工場では他にも2020年にはオランダ鉄道(Nederlandse Spoorwegen)社向けに79両の車両を出荷する予定。

エネルギー・環境

61%が原発建設を支持【10日】

10日、エネルギー省は昨年11月に実施した原発建設に関する世論調査(サンプル:15-75歳、2,000人)の結果を発表した。その中では、61%が建設を支持すると回答し、2012年の調査開始以来最も高い支持率となった。また、住宅地近郊での建設賛成は48%、政府による関与拡大、建設への公的支援に賛成するとの回答は約8割であった。

原子力発電所入札手続きの年内開始の可能性【11日】

ピオトロフスキ・エネルギー省次官は、同省の原子力発電所建設計画に関する入札及び資金調達方法の検討について、年内の入札手続き開始の可能性を否定しないと述べた。また、独立した原子力規制機関の設立や年内にエネルギー・ミックスが策定される必要がある事にも言及した。

大使館からのお知らせ

年末年始のテロに対する注意喚起と「たびレジ」登録のお願い

1. テロに対する注意が必要です。

年末年始のイベント等を狙ったテロが懸念されます。12月20日には、ドイツのベルリンでクリスマスマーケットに大型トラックが突入し、多数の死傷者が出ています。

2. 以下のテロ対策をお願いします。

(1) 最新の関連情報の入手に努め、「日本ではない」ということを忘れず注意を怠らない。

(2) テロの標的となりやすい場所(※)を訪れる際には、周囲の状況に注意を払い、不審な人物や状況を察知したら速やかにその場を離れる等、安全確保に十分注意を払う。

(※) クリスマス等のイベント会場、観光施設、レストラン、ホテル、ショッピングモール、スーパーマーケット等人が多く集まる施設、教会・モスク等宗教関係施設、公共交通機関、政府関連施設(特に軍、警察、治安関係施設)等

3. 在留届の提出や「たびレジ」への登録を必ず実施してください。

3ヶ月以上海外に滞在する方は在留届を、3ヶ月未満の場合は「たびレジ」に登録してください。(たびレジの登録: <https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/>)

渡航先の最新安全情報や、緊急時の大使館又は総領事館からの連絡を受け取ることができます。家族や友人、職場等に日程や渡航先での連絡先を伝えておくようにしてください。

更なる詳細につきましては、下記リンク先もご参照ください。

http://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcwideareaspecificinfo_2016C344.html

長期滞在を目的にシェンゲン協定域内国に渡航する際の注意

最近、ドイツ以外のシェンゲン協定域内国に長期滞在を目的と申告した邦人が、経由地であるドイツでシェンゲン協定域内への入国審査を受ける際に入国管理当局から(1)最終滞在予定国の有効な滞在許可証、(2)ドイツ滞在法第4条のカテゴリーD査証(ナショナル・ビザ)、又は(3)同D査証に相当する滞在予定国の長期滞在査証の提示を求められ、これを所持していないために入国を拒否される事例が発生しております。

このため、現地に到着してからの滞在許可証取得を予定し、最初にドイツ入国を予定している場合には、注意が必要です。

ドイツ以外の国では同様の事例は発生しておりませんが、シェンゲン協定域内国での長期滞在を目的に渡航する場合には、滞在国及び経由国の入国審査、滞在許可制度の詳細につき、各国の政府観光局、我が国に存在する各国の大使館等に問い合わせるなどし、事前に確認するようにしてください。詳しくは下記リンク先をご覧ください。

<http://www2.anzen.mofa.go.jp/info/pcsafetymeasure.asp?id=173>

パスポートダウンロード申請書のご案内

本年1月4日から、パスポートダウンロード申請が開始されています。日本国外でパスポート申請を行う方は、ご自宅などでこれらの申請書をダウンロードし、必要事項を入力・印刷することで、パスポートの申請書が作成できるようになります。詳しくは、下記リンク先をご覧ください。

http://www.mofa.go.jp/mofaj/ca/pss/page3_001509.html

【お知らせ】大使館広報文化センター開館時間

月曜日 9:00 - 19:00 火曜～金曜日 9:00 - 17:00

当センターでは、日本関連行事や各種展示のほか、マンガコーナーを含む書籍の閲覧、本・CD・DVD等の貸出しを行っています。

イベント情報: <https://www.facebook.com/JapanEmb.Poland>

問合せ先: 在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話: 22-584-73 00, Eメール: info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所: Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

文化行事・大使館関連行事

【開催中】展覧会「日本を体験」【11月18日(金)～1月21日(土)】

ルブリン市 Spotkania Kultur センターにて、日本文化・歴史を紹介する日本美術技術博物館 Manggha 所蔵品の展覧会が開催中です。

開催場所: ルブリン県, ルブリン市, Centrum Spotkania Kultur, Plac Teatralny 1

詳細: <http://www.spotkaniakultur.com/pl/manggha>

【開催中】展覧会「お茶と日本酒:日本の二つの飲み物」【11月19日(土)～2月12日(金)】

トルン旧市庁舎博物館にて、お茶と日本酒に関する展覧会が開催され、錦絵、茶碗をはじめとした茶道具、徳利、ぐい呑等の展示が行われています。

開催場所: トルン旧市庁舎博物館, Kamienica pod Gwiazda, ul. Rynek Staromiejski 35

詳細: <http://www.muzeum.torun.pl/>

【開催中】嵐絞り染めに関する展示【12月5日(月)～1月20日(金)】

在ポーランド日本大使館広報文化センターにて、嵐絞り染めに関する展示が開催中です。

開催場所：在ポーランド日本大使館広報文化センター（電話：22 -584 -73 00, E メール：
info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所：Al. Ujazdowskie 51, Warszawa）

【予定】日本映画上映会【1月17日（火）及び1月24日（火）19時～】

ワルシャワにて旧市街文化センター主催による日本映画上映会が開催されます（日本語音声，ポーランド語字幕）。入場は無料です。

1月17日（火）言の葉の庭（2013）

1月24日（火）ALWAYS 三丁目の夕日（2005）

開催場所：ワルシャワ, Staromiejski Dom Kultury, Rynek Starego Miasta 2

詳細：<http://www.sdk.pl/682-przeglad-filmow-japonskich>

【予定】日本の浮世絵展「女：美・カ・忘我」【2月14日（火）～5月3日（火）】

クラクフ国立博物館にて、「女性」をテーマとした浮世絵展が開催されます。浮世絵の他、着物、帯、屏風、鏡、かんざし等も展示される予定です。

開催場所：クラクフ国立博物館, Al. 3 Maja 1

詳細：<http://mnk.pl/wystawy/onna-piekno-sila-ekstaza>

この資料は、ポーランドの政治・社会情勢を中心に、各種報道をとりまとめたものです。

報道をベースにしておりますので、記載事項の信頼性については責任を負いかねます。

記載事項は在ポーランド日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。

皆様からの情報提供をお待ちしています

大使館では、読者の皆様に幅広くポーランドの情報をお伝えするため、皆様からの情報をお待ちしています。社会・生活情報やおすすめのイベント、困ったことなど、皆様に伝えたいと思われる情報があれば、下記のアドレスまでご連絡ください。（営利目的など、内容によっては対応できかねる場合もありますのでご了承ください。）

【お問い合わせ・配信登録】

本資料は、ポーランドに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。「新たに配信を受けたい」、「送付先メールアドレスを変更したい」、「配信を停止したい」等の依頼につきましては、下記のアドレスまでご連絡ください。

大使館ウェブサイト(http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm)も併せて御覧ください。

在ポーランド日本国大使館 news@mail@wr.mofa.go.jp（ご連絡は電子メールでお願いします。）